

A-9					
主題		デイサービスにおける ATP 測定法を用いた客観的な清掃と環境整備の実践報告			
副題		ご利用者の居場所は、見えない汚れも、見える環境もきれいに整える			
キーワード 1	ATP 測定法	キーワード 2	環境整備	研究(実践)期間	15ヶ月
法人名・事業所名		社福) 同胞互助会 昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園			
発表者(職種)		梅田美穂(介護職員)、加藤博臣(介護副主任)			
共同研究(実践)者		なし			
電話	042-545-8011	FAX	042-545-8012		
事業所紹介	<p>社会福祉法人同胞互助会を母体としています。愛全園(デイ、特養)では、介護の他、診療所併設の医療、栄養、機能訓練、口腔に力を入れた総合的な支援が特徴です。デイでは、通所(総合事業、一般)、地域密着(認知症対応型)を提供しています。上記に加え、アクティビティ活動が盛んに実施されています。</p>				
<p>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</p> <p>デイサービスにおいて、ご利用者が過ごす環境を整える為の仕組みは確立されておらず、その時々の対応に委ねられていた。日々の清掃については、早朝に非常勤のクリーンスタッフがこなっており、介護職の清掃や衛生面における意識向上が課題とされていた。</p> <p>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</p> <p>今回の実践では、ご利用者が過ごす場所を、より快適に、より安全な場所へと整備・改善すること、及び、介護職員の衛生観念の向上を目的とする。仮説として、</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会活動を通じ、定期的にご利用者や職場の環境を見直すことで、問題点の発見と改善につなげることが期待できる。 汚れの度合いを数値化する ATP 測定器を用いた清掃活動では、不衛生箇所に対して汚れを数値化し、その結果に基づいて清掃頻度を見直すことにより、目視や経験にたよらない客観的な清掃を行うことができる。 <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の環境美化委員会が発足され、各事業所でも委員による環境美化の取り組みを行い、月1回の委員会内で、取組前と取組後の写真を使ったピフォーアフター形式での報告を行ない、法人内で実施内容を共有した。 ATP 測定用の測定器を使い、汚れや不衛生箇所を数値化することで、見えない汚れや不衛生な部分に対する清掃や消毒の頻度を客観的に決定した。 ご利用者が快適に過ごせる環境とは何かを検討し、清掃だけでなく、居心地の良さ、景観の 					

美化、転倒等の危険回避などを考慮した、“ご利用者の居場所作り”を実践した。

- 職場環境においても、休憩室や職員トイレ、電話やパソコン用品など手に触れる事務用品における汚れの客観的評価やそれに伴う消毒の実施を行った。

《4. 取り組みの結果》

ATP 測定器による測定で、トイレ内の手すりやご利用者用のテーブル、パソコンのマウスや電話の受話器、職員休憩用テーブル等で基準値（500）の何倍もの数値が検出され、不衛生であることがわかった。これをふまえて、次亜塩素酸希釈液による拭き取り清掃を重点的に行い、清掃回数も1日1回、もしくは2回と数値により決定し、翌月の測定でも基準を超えた場合は、さらに1日の清掃回数を増やす等の対策をとった。その結果、各測定ポイントで数値が基準内に収まる等の効果が得られた。

また、ご利用者の環境については、エアーマッサー機や温熱療法機器を用いたリラクゼーションスペースを設置、リラックスタイムを求めるとも高い評価を頂いた。屋内園芸コーナーでは、プランターに植えられた花を觀賞され喜ばれるご利用者がとても多く、植物がお好きなご利用者が多いことを改めて実感した。図書室や雑誌コーナーでは本を読みやすく整理し、昼食後や送迎車を待つ時間などに活用して頂くことが出来た。

《5. 考察、まとめ》

今回の実践を行ない、汚れの数値化が職員の衛生観念向上に大きくつながった。意外な場所が汚れていることを知り、それをきれいにしようとする意識が芽生えたことが、大きな成果だと思う。またその意識は、ご利用者に心地よく過ごして頂く居場所作りへとつながり、ご利用者に喜んで頂ける環境整備をも実践することが出来た。

実践は継続中で、現在も毎月新しい取組みが行われている。今後も実践を継続していく事で、ご利用者がより快適に、そして安心してデイサービスでの時間を過ごす事ができること、即ちお一人お一人に合った“ご利用者の居場所作り”を実践していけたらと考える。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

キッコマンバイオケミファ株式会社ホームページ

(<https://biochemifa.kikkoman.co.jp/kit/atp/>)

《8. 提案と発信》

私たちが普段何気なく触れるものは、意外に汚れています。見えない汚れを知ることで清掃の意識が高まります。今回の実践が皆様の清掃意識の向上に繋がれば幸いです。